

これからの管理栄養士に期待される医療人としての姿勢 時代は「栄養経営士」を求めている!



すべての会場で宮澤靖代表理事が
受講者に直接講義を行う

基礎講習では、管理栄養士や栄養部門がどういう状況に置かれ周囲からどう見られているか、自分たちの姿を客観視するところからはじまる。そこから、管理栄養士の二大業務

である給食管理と臨床栄養についてどう考えるか、これからどのように職務を遂行すればよいかといったことをデータや事例を挙げて説明していくが、受講者それぞれも自院や自施設において何が問題か、どうすれば解決できるかを考えていく。ただ話を聞くのではなく、自分たちも実際に考えて答えを探すことで、まず栄養経営士としての思考・姿勢を学ぶのだ。

修了後の受講者は、自分たちの職場の課題は何か、解決するためにはどう動けばよいかが明白になり、やる気に満ち目を輝かせて会場を去っていく。今年も各会場で多くの管理栄養士が宮澤代表理事から熱い気持ちを受け取り、各々の職場で活躍してくれるだろう。

■「栄養経営士」資格認定基礎講習日程一覧

基礎講習日	会場	申込締切日
4月5日(日)	金沢	3月12日(木)
5月31日(日)	札幌	5月7日(木)
6月14日(日)	福岡	5月21日(木)
8月22日(土)	名古屋	7月29日(水)
8月23日(日)	大阪	7月29日(水)
9月26日(土)	仙台	9月2日(水)
9月27日(日)	東京	9月2日(水)

2020年の「栄養経営士」資格認定試験は6月7日(日)と11月15日(日)に決まり、その受験要件となる基礎講習が4月から順次全国で開催されることとなった。今年もすべての会場で宮澤靖代表理事が講師を務める。

「栄養経営士」資格認定基礎講習(以下、基礎講習)の受講は「栄養経営士」資格認定試験の受験要件になっており、受講することで栄養経営の考え方や栄養経営士としてあるべき姿を学ぶことができる。基礎講習には会場受講とDVD受講の2種類があり、2019年度の会場受講者は101人、15年の開始以来、会場受講では累計1300人を超える修了生を輩出している。20年度は4月5日(日)に行われる金沢会場からスタートし、札幌、福岡、名古屋、大阪、仙台、東京の全国7会場での開催を予定している。

これからは栄養管理から栄養治療の時代になる。1962年に資格が設けられてから58年、管理栄養士の業務は年々変わってきている。20年度の診療報酬改定では、管理栄養士による特定集中治療室での48時間以内の栄養管理の実施(早期栄養介入管理加算)や回復期リハビリテーション病棟入院料1での専任の管理栄養士1人以上の常任配置義務化などが盛り込まれ、ついに日本でも栄養管理から栄養治療へと踏み出す。そうなる、管理栄養士は臨床スキルの向上はもちろんだ、業務選択や人材マネジメント、多職種との円滑なコミュニケーション等

の能力も必須となってくる。つまり、これらの能力を身につけている、栄養経営士の時代がやってくるのだ。これを機に一人でも多くの管理栄養士が基礎講習を受講し、栄養経営士の扉を叩いてくれればと願っている。また、栄養経営士も参加可能な「あのころの熱い気持ち」を思い出したために、ぜひ活用していただきたい。

2020年度「栄養経営士」資格認定基礎講習 「栄養管理の経営能力」を身につけ 現場に不可欠な人材になろう!

一般社団法人 日本栄養経営実践協会 主催

10年後も生き残れる管理栄養士を目指そう!

第10回
「栄養経営士」
資格認定試験

2020年 6月7日(日)

■受験料: 8,500円(税込)
■試験会場(予定): 札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・福岡
■受験資格: 管理栄養士(実務経験2年以上)かつ「栄養経営士」資格認定基礎講習修了者

「栄養経営士」資格認定基礎講習は
DVD視聴による受講も可能です!

3枚組・特典映像
「近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて」付き

くわしくは

栄養経営士

検索



「全国栄養経営士のつどい」名古屋大会実践報告者決定！

7名の栄養経営士が実践報告に登壇 現場からの声が栄養部門を変える！

3月7日(土)に開催される「全国栄養経営士のつどい」名古屋大会で、現場からの実践報告を行う発表者7名が決定した。実践報告の概要と合わせて、その顔をれを紹介する。

現場での実践の発表が 栄養部門を活性化

全国栄養経営士のつどいのメインプログラムでもある実践報告は、栄養経営士が日常の業務のなかで取り組んできた実践の成果を報告する場である。その報告は「現場のリアルな内容なので大変参考になる」「同じような取り組みをしている方がいることがわかって励みになる」など、毎年参加者にとっても大きな学びとなっている。

今大会ではこれまでもっとも多い7名の栄養経営士が登壇する。全国から集まった登壇者と、その報告内容をを紹介する。

自身の経験に基づいて 栄養経営の実践を語る

北海道からは医療法人社団つづじ会空知中

央病院診療部栄養科主任管理栄養士の駒井紅美氏が「療養型病棟での栄養管理の有用化」のタイトルで登壇。長期療養型病院において3つの病棟で低栄養リスクを分析、介入の焦点を検討したうえで各病棟に常駐して栄養介入を実施した事例を報告する予定だ。

病棟常駐によってどのように栄養介入を行い、アウトカムを出したのか。特に療養型の病院に勤務する栄養経営士にとってはおおいに参考になるだろう。公益財団法人仁泉会北福島医療センター栄養科科长で、3月20日に開設する東北支部の理事も務める角田真佐枝氏は、「きつとできるよ栄養管理大改革」みんな私についてきて」と題した報告を行う。「管理栄養士の姿

が見えない」という課題を突きつけられるなかで行った、他部門との連携や地域への働きかけによる部門改革の実践は、大きな学びになるのではないだろうか。関東から登壇する医療法人社団愛宝会浜田山病院栄養科の嶺孝雄氏のタイトルは「栄養士よ『ONE TEAM』になれ!」。日本栄養士会災害支援チーム(JDAIDAT)での研修の経験から、SNSを活用した情報交換について発表する。

医療経営士の資格も持つ嶺氏の幅広い視野からの発表は、栄養経営士一人ひとりにとって新たな気づきがあるはずだ。開催地である東海地域からは、医療法人宝美会総合青山病院栄養管理室主任の岩間克氏が、「臨床栄養管理へ繋げる給食経営の改善」をテーマに登壇。委託給食会社と病院の管理栄養士が課題を共有し、改善に向けて行った取り組みを報告する。

病院の栄養部門にとって喫緊の課題ともいえる給食分門のマネジメント。今大会では基調講演でも長崎リハビリテーション病院の西岡心大先生にお話しただけが、より身近に感じられる現場報告と合わせて学ぶことで多面的に捉えることができ、より具体的な解決策を導くことができるのではないだろうか。

当協会の宮澤靖代表理事の所属先でもある社会医療法人近森会近森病院臨床栄養部の千葉枝里子氏は、「病棟常駐型チーム医療における管理栄養士の役割—SCUでの栄養サポートを通して—」と題する報告を行う。

急性期の栄養管理の最前線を知ることとはもちろん、2年前の札幌大会でも登壇した千葉氏が近森病院でどのような研鑽を積み、学びを得たのかという点についても注目したい。そして九州からは医療法人大和大和クリニック・メディカルフィットネスYAMATOの中村達也氏が登壇。「SNS等、新たな可能性を求めながら働く管理栄養士になるために」

*

7名の報告は2つのセッションに分けて行われ、セッションの最後にはそれぞれディスカッションを行う。場内からの質疑応答も含め、報告内容をさらに深掘りしていく予定

だ。大会の最後には最優秀賞などの受賞式も行われる。栄養経営士が日頃からどのような活動をしているのか、現場からの実践報告はその具体的な内容を示すものでもある。7名の実践報告をぜひ会場で聞いていただき、自身のスキルアップにつなげるとともに、その学びを持ち帰り、職場でのインベーションにつなげていただきたい。

2020年度全国栄養経営士のつどい名古屋大会 実践報告登壇者

地域	名前	タイトル	所属先
北海道	駒井 紅美	療養型病棟での栄養管理の有用化	医療法人社団つづじ会空知中央病院 診療部栄養科
東北	角田 真佐枝	きつとできるよ 栄養管理大改革～みんな私についてきて～	公益財団法人仁泉会北福島医療センター 栄養科
関東	嶺 孝雄	栄養士よ「ONE TEAM」になれ!	医療法人社団愛宝会浜田山病院 栄養科
東海	岩間 克氏	臨床栄養管理へ繋げる給食経営の改善	医療法人宝美会総合青山病院 栄養管理室
関西	阿部 茉莉	ある特養での栄養士業務	社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会中津特別養護老人ホーム喜久寿苑
中四国	千葉 枝里子	病棟常駐型チーム医療における管理栄養士の役割—SCUでの栄養サポートを通して—	社会医療法人近森会近森病院 臨床栄養部
九州	中村 達也	SNS等、新たな可能性を求めながら働く管理栄養士になるために	医療法人大和大和クリニック・メディカルフィットネスYAMATO

支部NEWS

九州支部

中国支部

【九州支部】 セミナーレポート

多様な視点を持ち、地域を支えられる管理栄養士を目指す

支部研究会 地域と病院・介護施設をつなぐ管理栄養士を目指す～在宅医療の実例から～

日本栄養経営実践協会九州支部は1月25日(土)、栄養経営士研究会を開催しました。福岡市の貝塚病院・管理栄養士の石野宏氏が、訪問栄養指導で実践と必要性について報告し、参加者は地域で求められる管理栄養士像について認識を深めました。

前半は訪問栄養指導の立ち上げがテーマ。石野氏は、平成25年より訪問栄養指導を実施し、契約件数は20件、年間延べ約120回の指導を実施しています。訪問栄養指導をはじめたきっかけは、事務長からの指示だったと言います。

「上からの指示ではじめたが、進めていくうちに地域での需要を感じ、主体的に取り組むことに決めた。しかし待っているだけではなかなか案件は来ず、加えて病院業務との兼務や費用面にハードルを感じ、実際に動きだすには病院の協



積極性を持ち、取り組みを継続することが院内や地域の理解につながる

力体制と理解が必要であると考えた」。

立ち上げの難しさを感じた石野氏は、まず院内の他部署に周知を徹底。そこから入退院支援計画書に訪問栄養指導の項目が追加され、介護サービス事業所にも直接訪問を行って説明会を開催しました。こうした地道な努力により訪問依頼が増えていったそうです。

後半は石野氏の訪問栄養指導の症例を用い、栄養指導の方針を検討するグループワークを行いました。利用者は「肥満の男性で独居、調理をほとんどせず、管理栄養士の介入に対して否定的な方」。参加者からは簡単な調理の仕方や配食弁当の選び方等、食事指導が中心に意見が挙がりました。石野氏は「在宅では栄養面だけでなく、利用者が何を希望しているかを考える必要もある」と参加者に説明。この症例では「自宅での生活継続」を目標に栄養・運動を合わせた指導を行ったことで、利用者のやる気を引き出し、生活改善と体重減少につながりました。石野氏は生活歴や家族との関係など様々な視点を持つことの大切さを感じたと言います。

石野氏は「管理栄養士は目先のことばかり見て全体像が見えてないと他職種から言われたことがある。院内での厳密な栄養管理・指導ではなく、利用者の生活に適した現実的な提案が必要になる」と強調しました。

訪問栄養指導は、ケアマネジャーの判断によ

り依頼されることが主であり、チームで動くため、石野氏は他職種の研修会にも参加したそうです。そこで、チーム医療の中に管理栄養士は組み込まれておらず、存在が認識されていないことに気づいたと言います。

「栄養指導は独占業務ではないため、質の高い指導をしなければ継続にはつながらない。他職種に継続的な栄養指導の必要性を伝え、利用者や地域の生活を支えられるよう、自分自身のスキルアップに今後も努めていきたい」と話し、研究会を結びました。

参加者からは「実際の業務内容等について知ることができて良かった。戻ったら取り組みを進めたい」「利用者の生活に即した指導が行えるよう勉強していきたい」との声が聞かれ、研究会に参加したことで気持ちを新たにしていました。



グループワークではさまざまな視点で話し合いが行われた

★3月28日(土)セミナー開催 参加者募集中!【中国支部】

ヘルパーが“栄養管理”した調理を実践 事例発表からポイントを学ぶ

合同研究会「ヘルパーの調理で“栄養管理”を実践～調理を“身体介護”で算定し、126%増収を実現した事例～」開催

日本栄養経営実践協会中国支部では、3月28日(土)に日本介護福祉経営人材教育協会中国支部、日本医療経営実践協会中国支部との合同研究会「ヘルパーの調理で“栄養管理”を実践～調理を“身体介護”で算定し、126%増収を実現した事例～」を開催します。開催のねらいや、講義の内容について紹介します。

ヘルパーが毎日の調理で栄養管理を実践し
利用者の在宅生活継続と事業所の増収を実現

2018年度介護報酬改定では、訪問介護の「生活援助中心型」の基本報酬が引き下げられ、「身体介護中心型」が引き上げられました。生活援助の割合が多かった訪問介護事業所川内の里(社会福祉法人楽友会)では、介護報酬改定後の大幅な減収を見越して、調理を“身体介護”で算定する取り組みを開始。医師や管理栄養士と連

携し、ヘルパーが利用者の家にある食材、調味料で栄養管理した食事を提供しています。

その結果、利用者の栄養状態の改善、在宅生活の継続を実現し、訪問介護事業単体で126%の増収という成果を上げました。今回の研究会では、この取り組みの推進役となった、サービス提供責任者の河野幸子氏を迎え、実際に導入した経験を基にお話します。

法人内で訪問介護事業をしているという方はもちろん、訪問や外来で栄養指導をしている管理栄養士さんにとっても、ヘルパーが栄養管理した調理を実践できるようになれば大きな助けとなるでしょう。事例発表では、川内の里で実施した、ヘルパーへの研修や調理実習の内容、改良を重ねて作成した「栄養単位数表」や「記録用紙」などもご紹介しします。栄養管理しているにも関わらず、買い食いをしてしまう利用者にとどの

ように対応したかなど、実際の経験を基にお話します。ぜひ参考にしてください。



訪問先でつくった食事の保存はひと目でわかるよう工夫されている

●当日の内容●

- ◎「特段の専門的配慮をもって行う調理」の該当利用者は誰?
- ◎ヘルパーへの研修・調理実習
- ◎改良を重ねて作成した「栄養単位数表」と「記録用紙」
- ◎「栄養制限」をする利用者の事例
- ◎生活援助と身体介護の割合8:2→6:4 ⇒126%増収
- ◎今後の課題「区分支給限度基準額の壁」

- ◎算定要件「医師、管理栄養士、ケアマネとの連携」とは?
- ◎栄養計算⇒献立作成⇒調理 を1時間で完了するには
- ◎特別食を現場でつくるための3つの「K」(継続・経済・経営)
- ◎「栄養を付加」する利用者の事例
- ◎ケアマネや病院から「選ばれる事業所」に

日 時：3月28日(土)14:00～16:00
会 場：RCC文化センター
(広島県広島市中区橋本町5-11)
講 師：河野幸子氏(社会福祉法人楽友会 訪問介護事業所川内の里 サービス提供責任者)
定 員：30名(事前申し込み必須)
受講料：会員3,000円(税込)
非会員4,000円(税込)
申し込み：協会サイトの「研究会・支部研究会」より当研究会の用紙をダウンロードの上FAXにてお申し込みください。
FAX:092-418-2821
お問い合わせ：株式会社日本医療企画 九州支社
(担当:上津原)
TEL:092-418-2828

栄養経営士が知っておきたい!

イベント 情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

九州支部

業務を「見える化」し、本当に必要な業務の選択と集中に取り組もう

九州支部では、限られた人数で業務をこなし、さらに成果を上げるために業務の効率化に関する研究会を開催します。求められている役割と注力すべき業務は何かを一緒に考える、これからの栄養科マネジメントに役立つ内容です。

- 日 程：2020年3月14日(土) 10:00～15:00
- 講 師：片桐義範氏(福岡女子大学国際文理学部 食・健康学科 教授/日本栄養経営実践協会九州支部 支部長)
- 参加費(税込)：【会員】3,000円 【一般】4,000円
- 会 場：エイムアテイン博多駅東会議室5K
(福岡市博多区博多駅東1-12-17)
- 定 員：15名(先着順)
- お問い合わせ：株式会社日本医療企画 九州支社(担当:石田)
TEL:092-418-2828

関東支部

石井先生と語ろう♪ 診療報酬改定カフェ

関東支部では、昨年12月より、石井富美氏を講師に迎えた診療報酬改定カフェを開催してきました。全4回の最終回となる今回は、いままでのまとめと今後の方向性について語ります。2020年度改定の内容をしっかりと理解してから新年度を迎えましょう!

- 日 程：2020年3月19日(木) 19:00～20:30
- 講 師：石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所 副所長)
- 参加費(税込)：【会員】1,000円 【一般】3,000円
- 会 場：日本医療企画ニッテン神田ビルセミナールーム
(千代田区神田東松下町17 ニッテン神田ビル3階)
- 定 員：30名(先着順)
- お問い合わせ：株式会社日本医療企画(担当:平山)
TEL:03-3256-2885

九州支部

低栄養を改善する腸と排泄の知識 症例で学ぶ「低栄養と排泄の深い関係」

低栄養の患者・利用者に対する栄養管理で結果がなかなか出ないという悩みをお持ちの管理栄養士に向けて「栄養をしっかりと吸収できる腸とは?」「腸の状態を評価する排泄日誌」「栄養を吸収できる腸のつくり方」など、排泄の視点から見る栄養について解説します。

- 日 程：2020年3月28日(土) 13:30～17:00
- 講 師：種子田美穂子氏(大牟田市役所 保健福祉部 健康長寿支援課 コンチネンスアドバイザー)
- 参加費(税込)：【会員】4,000円 【一般】5,000円
- 会 場：第三博多偕成ビル4階 大会議室
(福岡市博多区博多駅南1-3-6)
- 定 員：50名(事前申込必須)
- お問い合わせ：株式会社日本医療企画 九州支社(担当:上津原)
TEL:092-418-2828

協会事務局より

2020年4月期限の会員の皆さまへ 【年度会費納入および資格更新のご案内】

2020年4月で年度会費の有効期限、会員資格の有効期限を迎える会員の皆さまに、当協会より、年度会費納入および資格更新のご案内を郵送しております。ご確認およびお手続きのほど、よろしくお願い申し上げます。

ご確認およびお手続きのほど、よろしくお願い申し上げます。

- 対 象 者：有効期限が下記の「個人正会員」、「栄養経営サポーター」
年度会費:2019年4月20日～2020年4月19日
会員資格:2017年4月20日～2020年4月19日
- 年度会費：【個人正会員】10,000円
【栄養経営サポーター】8,000円
- 資格更新：【個人正会員】15,000円(年度会費込み)※申請書類・課題をご提出ください。
【栄養経営サポーター】13,000円(年度会費込み)
- 支払期限：3月19日(木)までに指定口座へ振込
- お問い合わせ：一般社団法人日本栄養経営実践協会
TEL:03-5289-7021

日本栄養経営実践協会東北支部 設立記念講演会

東北から栄養経営の新たな道を照らす



東北支部設立記念講演

「亜鉛に着目した栄養管理」

講師：土屋 馨氏

(公益財団法人 仙台市医療センター 仙台オープン病院 院長)

日 時：2020年3月20日(金・祝)
15:00～17:00(予定)

場 所：仙都会館5F

(宮城県仙台市青葉区中央2-2-10-5階)

参加費：栄養経営士1,000円/一般3,000円

定 員：50名

お問い合わせ:日本栄養経営実践協会東北支部 設立準備室(日本医療企画 東北支社) 担当:三浦 TEL:022-281-8536